

# 放課後等デイサービス にじいろ・にじいろ2nd 支援プログラム



支援方針：明るく♪楽しく♪元気よく♪

支援理念：基本的な挨拶の習慣を身に付け、他者からの意見を素直に受け止められる心を養いながら、社会へ出た時に周りから助けてもらえる人になる事を目指します。

営業時間：平日→10:00~18:00 学校休業日→8:30~18:00

送迎の実施：有（学校→事業所→ご自宅・事業所→ご自宅）



## 運動・感覚

天気の良い日には公園に出かけ、遊具の正しい使い方、遊びに合わせた様々な身体の動かし方を知らせていきます。土曜日や長期休暇中は外出イベントも実施し、公共の場でのマナーや買い物の仕方なども知らせていきます。  
室内でもドッチボールやエアロバイク、ポッチャなど身体を動かす遊びが人気です♪  
また、遊びを通して友だちとのかかわり方、ルールを守って遊ぶ楽しさなども伝えていき、子どもたち同士で遊びを広げていけるようサポートします!!

## 健康・生活

来所時は、お子様たちと顔を合わせ「おかえり」「ただいま」と挨拶を交わすことで、その日の気分や体調の変化にいち早く気が付けるよう努めています。また、来所後や外出後の手洗いうがいの促進、季節や気温に合わせた衣服の調整、汗をかいたら拭くなど、健康かつ、清潔に過ごせるよう声掛けをしていきます。  
身辺自立に向け、活動の切り替えに合わせた排泄の声掛け、おやつや昼食時に正しい食具の扱い方、食事のマナーなども知らせていきます。

## 言語 コミュニケーション

## 人間関係 社会性

## 認知・行動

学校の宿題、家庭から持参した学習課題、事業所で用意するプリントなどに取り組む時間を設けています。始めは洪々取り組む子も、宿題に取り組む習慣が身に付き、段々と自ら机に向かうようになっていきます。わからない事は職員と一緒に考え、達成感を味わいながら自信へとつなげていきます。また、高学年は自分で答え合わせまで取り組み、自立に向けて支援していきます。

## にじいろでの 取り組み

放課後等デイサービス「にじいろ」「にじいろ2nd」 5領域についての支援プログラム

5領域	支援ポイント	活動内容
健康・生活	一人ひとりのお子さんが健やかな身体と心を持ち、日常生活を自立して送ることが出来るよう、健康な生活習慣の促進、基本的な生活スキルの獲得を促します。	感染症対策として、来所時に検温、手洗いがいの推進を行っています。また、目視・口頭にて体調不良等がないか確認を行っています。体調が悪くなった際は、休憩室で身体を休めること、症状を言葉にして伝える必要性も知らせていきます。 衣服が汚れたり、汗をかいた時には必要に応じて着替えを促しています。
運動・感覚	感覚調整や運動能力の向上を図り、日常生活や学習活動における支障を軽減し、自己肯定感や自己効力感を高めます。	天気の良い日は公園に出かけ、遊具の正しい使い方、危険な遊び方をしている時にはどのような怪我につながるのかを具体的に知らせながら、危険予知を促していきます。ルールのある遊び、道具を使った遊び（サッカー、キャッチボールなど）などを通して、様々な身体の動かし方を伝えていきます。また、室内でもエアロバイクやトランポリン、転がしドッチボールなどで身体を動かしています。（学校休業日は大里東小学校の体育館を利用することもあります） 掃除の時間を設けることで雑巾がけ、ほうきと塵取りの使い方、食器洗い、机の拭き方など粗大運動だけでなく微細運動にも働きかけています。
認知・行動	発達レベルに応じた教科学習の支援、認知の偏りに対する予防(誤学習)と状況に応じた適切な行動への対応力を養います	学校の宿題がある日は、職員と一緒に内容を確認をし、取り組む姿勢を見守りながら必要に応じて個別にサポートを行います。時計を使って活動の切り替えを促し、時間の感覚を養えるようにします。 個々の特性を理解し、こだわりのある事柄について様々な視点からみた考え方を伝え、緩和されるよう働きかけていきます。また、自分の思う通りにならなかった時に不適応行動と呼ばれる行為（物を投げる、相手または自分を傷つけるような言動など）が現れた際は、その都度子どもたちの話を聞き、気持ちに寄り添いながら、自分や相手、身の回りの物の大切さ知らせていきます。
言語 コミュニケーション	適切なコミュニケーション能力の獲得や自己表現力の向上を図り、社会生活における関係性やコミュニケーション能力を高めます。また、読み書きの苦手を抱えるお子さんに対しては個別でサポートを行います。	遊びや活動を通して、友だちや職員とコミュニケーションを取りながら言葉での気持ちの伝え方を知らせていきます。会話の中で言葉が足りないときや、誤った言葉の使い方をしている時には職員が仲介に入り、適切な伝え方を知らせていきます。（助詞の正しい使い方、5w1hを用いた具体的な伝え方など） トラブルが生じた際は、互いの思いを伝え合い、相手の気持ちを汲み取りながら話し合いが出来るよう支援します。 学習時間中、必要に応じて読み書きのサポートを行います。
人間関係 社会性	集団活動でのルールに合わせた行動等や社会参加の経験を通じて、他者との関係や社会性の向上を図り、社会生活における適応力を養います。	子どもたちと活動を共にすることで、信頼関係を築いていきます。 遊びや活動の中で、約束やルールを守って行動する大切さ、時には自分の気持ちを自制する必要があるという事なども伝えながら、その場に応じた言動を考え、行動に移せるよう支援します。 土曜日や長期休暇中は様々な公園やイベントに出かけることで、公共の場でのマナーを知らせていきます。昼食購入の際はお金の支払い方、商品の扱い方なども伝えていきます。